高田中学校

教育活動の負荷軽減や機会の継続(保障)につながるICT機器の活用

Vol.13　校務効率化/研修　オンライン/動画授業

教育活動の負荷軽減や機会の継続(保障)
につながるICT機器の活用

【オンライン会議ツールの活用②】

コロナ禍には、思うように教育活動が行えない事態が生じました。

一方、共有された授業動画を視聴してのオンライン協議会といった「新しい形式の研究会」の実施や、保護者・地域の方々との会議、児童と生徒の交流など、「オンラインツールを活用したこれまでになかった形態での教育活動」を実施する転換期にもなりました。

現在も活動の多くを対面で行っていますが、学校の外の組織や人と連携した活動や、緊急時などには、適宜オンライン会議ツールを併用して、校務負荷の軽減や、地域や社会とのより密な連携を図っています。

《事例紹介》

◆ 併設型小中学校としての3校での取り組み

高田中学校は高田小学校、高田東小学校の3校で小中一貫教育推進を実施しています。
その中で、オンライン会議ツールの活用事例をご紹介します。

1 学校長の打ち合わせ

三校の校長で定期的に顔を合わせて打ち合わせを行っていますが、オンライン会議ツールの活用によって、突然の打ち合わせも柔軟に対応可能になり連携のとれた教育活動に役立っています。

2 担当者会議

3校の管理職、生徒指導主任、教務主任などが年に5，6回打ち合わせを実施しています。コロナ禍にはオンラインを活用し打ち合わせを継続しました。当日に出張などがあっても出張先からでも参加が可能です。オンラインで実施の場合は多忙な教員の移動時間も不要となります。

現地開催の様子

オンライン開催の様子

3 公開授業(オンラインはR2・3年度のみ)

オンラインでの実施は当該年度のみですが、R2年度は授業風景をDVDに記録して各校に配付
R3年度は授業風景を端末で録画し、3校の教員が参加しているGoogleClassroomで共有し、視聴しました。
その後、オンライン会議ツールを活用して、授業協議会を実施しました。

共有された授業の視聴

全体協議会

◆ PTA役員会

コロナを契機にPTAの役員会や運営委員会のオンラインでの実施が始まり、コロナ禍の間もずっと「学校に集まらずに活動を継続する」ことができました。
現在も役員会は原則オンラインで継続実施、必要に応じて対面での打ち合わせも併用しています。
保護者の方々が来校する必要がないため時間の融通が利き、PTA役員の保護者の負担軽減につながりました。

◆ 学校運営協議会(R2年)

コロナ禍でも、学校運営協議評議委員である都内の有識者や地域の皆様ともオンライン上でつながりあい、高田中学校ブロックの学校運営について協議を行うことができました。

◆ 生徒の活動

1 図書館交流(R4年)

図書委員が図書館についての紹介動画を作成し、併設型小学校2校の小学生が閲覧しました。
また事前アンケートで小学生から質問を集め、当日オンラインで回答しました。

2 児童会・生徒会交流会(R2年)

「いじめ防止の為の話し合い」を併設型小学校の3校の生徒会・児童会でオンライン会議ツールを活用して実施しました